

第3回総務経済常任委員会・厚生文教常任委員会 合同委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和7年11月7日（金曜） 午後1時30分 開会		
	休憩 13:36-13:39 13:49-13:50		
	午後1時53分 閉会		
	休憩時間：0時間 4分 会議時間：0時間 19分		
会議場所	役場3階 委員会室		
出席委員 氏名	委員長 木村 淳彦	委員 早苗 豊	委員 鈴木 健充
	副委員長 堀切 忠	委員 立川 美穂	
	委員 西尾 一則	委員 渡辺洋一郎	
	委員 常通 直人	委員 橋本 和仁	
	委員 正村紀美子	委員 伊藤 稔	
	委員 中村 和宏	委員 菊池 秀明	議長 梶澤 幸治
	政策推進課長	有澤 勝昭	
	政策調整係長	大石 秀人	
	健康福祉課長	森 真由美	
	健康福祉課長補佐	杉山真理子	
参考人			
欠席委員 氏名	委員 中田智恵子		
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 竹川 恭史	総務係主査 大石真澄

1 開会

木村委員長（総務経済常任委員会）が開会を告げ、小笠原等委員、中田智恵子委員の欠席を報告し、事務局から委員会の日程について説明をする。

2 議件

(1) 調査事項

ア 物価高騰対策について 資料1

- ・政策推進課長：概要について説明し、詳細は担当係長より説明
- ・政策調整係長：資料説明（資料1、参考資料）。
- ・委員長：「資料1」「参考資料」について一括して質疑を行う、質疑はないか？
- ・橋本委員：R7実施事業の各事業費はいくらか。
- ・政策調整係長：1. Mカードが10,000千円、2. 学校給食が14,136千円、3. 水道料が37,881千円。
- ・菊池委員：前回は非課税世帯約2100世帯への支援だったが、今回はより対象を絞っているが、そう判断した理由は。
- ・政策調整係長：財源である交付金の金額と、政策判断として、本当に困っている方

～支援することとして、対象を厳選した。

- ・西尾委員：マイナンバーカードを所持していない方へは、どのように支給するのか。また、今回は給付金分しか予算措置されていないが、事務費はかかるのか。
 - ・政策調整係長：高齢者等冬の生活特例支援事業（以下特例支援事業）と同時に支給する予定。また、特例支援事業と同時に支給するため、物価高騰対策での事務費は計上していない。
 - ・堀切副委員長：今回の給付に生活保護世帯は含まれないのか。
 - ・政策調整係長：含まれない。
 - ・堀切副委員長：参考資料にあるR6実施事業の1. 低所得世帯支援事業は、生活保護世帯も対象だったのでは？
 - ・政策調整係長：国の制度として実施し、生活保護世帯にも支給していた。
 - ・堀切副委員長：今回の対策で生活保護世帯が含まれないのはなぜか。保護世帯は、低所得であり、物価高騰の影響を強く受けている。配慮が必要ではないか。
 - ・政策推進課長：特例支援事業に生活保護世帯を含めるかどうかは、過去に議論があった。生活保護は制度のなかで、物価高騰、冬季間の加算などを含めて支援を受けているとの判断である。
 - ・堀切副委員長：生活保護費に冬季加算はあるが、冬季加算に加え、物価高騰への対応も実施されているのか。
 - ・政策推進課長：生活保護世帯への給付に物価高騰による追加はない。今回の支援は特例支援事業対象者に限定しているため、対象外となる。
 - ・委員長：他にないか？
 - ・(なし)
 - ・委員長：調査事項「ア」の調査を終了する。
-
- ・委員長：自由討議を行う。意見はないか？
 - ・(なし)
 - ・委員長：以上で自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日時について

- ・委員長：両常任委員長協議とする。

(2) その他

- ・委員長：各委員からないか？
- ・菊池委員：全国的にヒグマ被害が増えている。町民から不安の声があるが、緊急銃猟の実施には、まだまだ時間がかかる。現状の課題把握と今後の方向性を議会として把握すべき。合同委員会で取り扱てはどうか。
- ・木村委員長：両常任委員長で対応を協議する。ほかにないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？

- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、合同委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和7年11月7日

総務経済常任委員会委員長 木村 淳彦

議長	副議長	局長	係長	主査	作成者氏名
					大石 真澄